

まちの「今」をお届けする行政情報誌

【町公式 HP】 www.town.shinanomachi.nagano.jp



の し 報 広

Shinano Town Public Relations Magazine

題字：小林一茶
『おらが春』より



【特集】町を照らす光

— 起業による地域活性化を考える —

Dec
2014
No.349

12

【特集】

町を照らす光

起業による地域活性化を考える

今、町は過疎化、少子化に直面しています。

このままでは子どもや若者が減り続け、町の産業も右肩下がりの状況が続くばかりです。

そんな中、町で起業をして挑戦、奮闘をしている起業者がいます。

「地域の良さを活かして、地域を元気にしたい」

今回は、元気な起業者たちの姿に迫り、元気な町に変えていくためのヒントを探ります。

信濃町の人口は昭和25年にピークを迎え、1万5千人ほどが住んでいました。その後、減少傾向が続き、11月時点での人口は9,128人です。子どもの出生数は、平成25年度はわずか32人。国立社会保障・人口問題研究所の平成25年3月推計によると、平成52年には5,296人まで落ち込むと推計されています。

さらに、地方では雇用場が限られるため、都市部へ流出する若者層が増えるばかりです。町に元氣を取り戻すためには、若者の存在が必要不可欠です。若者にとって魅力のある地域とは。地域に雇用の場をどう作っていくのか。

一方、町に魅力を感じ起業する人たちもいます。「信濃町には信濃町の良さがある」。私たちの気がつかなかった町の魅力を照らし出します。元気な起業者たちの視点から、新しい町の姿が見えてくるのかもしれない。

太陽が輝くかぎり、希望もまた輝く
フリードリヒ・フォン・シラー



1. 大正 15 年、たくさんの人で賑わう古間商店街入り口で大獅子を披露する様子／2. 黒姫駅前から連なる柏原の商店街の現在の様子／3. 避暑地として名をはせた野尻湖周辺の現在の様子／4. 現在の古間商店街の様子



信濃町商工会
会長 間瀬 一朗さん

商店等はこの先も後継者不足により減少が見込まれます。強い危機感を持っています。その危機感をみんなで共有する必要があると思います。そのうえで、新しい取り組みをみんなで考えていきたいと思っています。

かつてはにぎわいを見せた信濃町。商業でも観光業でも店を閉める数が目立つようになり、私たちの生活を支えていた店が少しずつ姿を消しているのです。町の様子はわずか数十年で大きく変わってしまいました。

なぜ、町の商業や観光業は縮小傾向にあるのでしょうか。それは町を取り巻く環境が大きく変わってしまったからです。私たちの生活に置き換えてみても、その変化に気づくのではないのでしょうか。

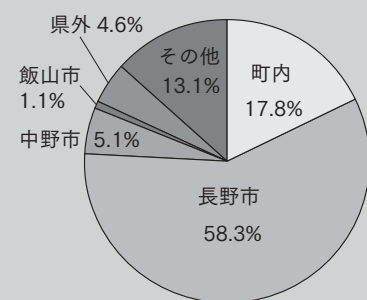
買い物は手軽で便利なコンビニエンスストア、たくさんの商品が並んでいる大型チェーン店。そして長野市が車で1時間もかからない身近な場所になり、週末は長野市への買い物

買物物手は手軽で便利なコンビニエンスストア、たくさんの商品が並んでいる大型チェーン店。そして長野市が車で1時間もかからない身近な場所になり、週末は長野市への買い物

も当たり前になりました。さらには情報化社会の発達により、家においてもインターネットで買物ができるのです。観光では交通網の発達などで、昔は泊りがけで旅行に行っていた場所も、今では日帰り旅行ができます。アクセスが良くなったことで、観光地にお金

落ちづらくなりました。

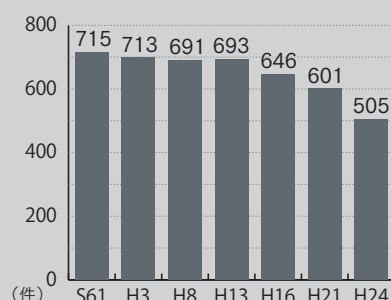
以前は町の中で、うまく循環をしていた人と人のつながりやお金の流れが失われつつあるのです。特に町の基礎をなすものは「人とつながる場」です。「町に集う場所が無くなった」という声をよく耳にするようになりました。多くの店は「人とつながる場」の役割も果たしていたのです。人と人のつながりが少なくなり、町全体も活気がなくなっているのです。



買い物をする地域

町内で買い物をする人は、2割未満、6割近くが長野市に買い物に出かけている。また、その他で通販・インターネット販売も増加傾向。

(H24 年度長野県商圏調査)



町内事業所数の推移

700 件前後で推移をしていた事業所数が、平成 16 年以降は減少傾向である。特に平成 21 年から平成 24 年では約 100 件が廃業している。

(商業統計調査)

活気に満ちていた町

長野県の北部に位置する信濃町は、古くから北国街道と言われる交通の要所として栄え、宿場町や鎌の生産地として名をはせました。鎌の販売先は、県内はもちろん、遠く、北海道や九州まで全国にわたったそうです。

さらに長野県内 2 位の大きさを誇る野尻湖は、軽井沢とともに古くから国際的な避暑地として知られ、真夏には日本各地からの避暑客で賑わう湖でした。今では考えられないほど、活気に満ちていた時代がありました。

古間地区で店を営んでいる

松本勝雄さん。昭和 40 年頃の古間商店街はにぎやかだったと振り返ります。

「古間商店街がにぎやかだった当時は、大勢の人が買い物にきていました。遠くは隣の旧豊田村や妙高市の杉野沢からもお客さんが来ていました。また、古間の町は刃物の町と言っただけあって、鍛冶屋の軒数も多くあり、朝 4 時頃から刃物をカンカンと打つ音がして、本当に活気がありましたね」

それぞれの店に常連さんがいて、人と人とのつながりがありました。周りでは日が暮れるまで遊ぶ子どもたちの姿も見られ、町には多くの人たちの姿があったのです。

松本サイクル商会 松本 勝雄さん

若い頃は仕事が忙しかったです。昔は自転車とバイク、次第に軽自動車が増えてきて工場も拡大しました。野尻湖の景気も良かったので、旅館などにレンタルサイクルを 100 台ほど持っていました。当時のレンタルサイクルのにぎやかさも、忙しさもおもしろかったですね。



輝きを放っていた町はその輝きを失いつつある

昔から交通・経済の要所となっていた信濃町。人や物が行き交う町は活気に満ちていました。しかし、今は時代の流れに対応できず活気を失いつつあります。

地域の魅力を知り可能性を探る

地域が元気を取り戻すためには、何が必要なのでしょう。町の可能性について、株式会社LIG（リグ）を営んでいる吉原豪さんに聞きました。

時代の最先端を走る
IT企業の起業者に聞く

元気な地域もある

「これからみんなと町を盛り上げていきたい」と話す吉原豪さん。今年、信濃町で新しい事業を展開しています。

「私が子どもの頃はバブルの残り香がまだあって、夏も冬も人がたくさんいました。すごい人の数だった記憶があります。昔と比べると今の信濃町は元気がないと感じています」

全国各地、経済の低迷や少子高齢化などの時代の流れで元気を失っています。しかし、時代の流れに立ち向かっている元気な地域もあります。

を誘致することですが、地域と行政の受け入れ体制が重要になると思います」

地域の魅力を知る

誘致するためには、私たち自身が信濃町の魅力を知り、その魅力を伝える必要があります。

「信濃町の一番の強みはこの豊かな自然環境です。都内の人たちを連れてきても、みんな『すごいね』と言います。それが私たちにはわからないのかもしれない。ずっと地元にいると、それが当たり前になっ

みんなで盛り上げていけば、地域は盛り上がっていきます。未来を見据えて、横のつながりを作っていくことです。信濃町はもっとおもしろくなると思います。

株式会社 L I G（リグ）
代表取締役 社長 吉原 豪 さん

プロフィール
信濃町生まれ。平成19年に東京でウェブ制作会社を起業。現在は株式会社LIG、社員60人の社長として様々な事業を展開している。今年、野尻湖にゲストハウスLAMP（ランプ）を開業した。



■ 徳島県 神山町

四国の徳島県東部に位置し、かつては林業が盛んだった山間部の町で人口は約6,000人。少子高齢化が進んでいたが地域住民の活動が実を結び、今、IT企業によるオフィスの開設ラッシュにわき、起業者の移住も増えてる。日本の元気な地域のひとつとして注目を集めている。

■ 熊本県 黒川温泉

熊本県の東北部に位置し、全国屈指の人気を誇る温泉地。以前は大型旅館を抱える温泉地にお客を奪われ、低迷が続いていた。しかし、不便な山間部の地形や規模の制約という弱点を逆手にとって、近代化と拡張を続けてきた温泉地とは逆の発想により成功をした。

みんなで盛り上げる

吉原さんは信濃町にビジネスの可能性が十分にあると感じています。

「豊かな自然環境と首都圏から比較的近い立地条件など、信濃町には大きな可能性があります。みんなで盛り上げていけば、地域はきつと盛り上がっていくと思います。そのためには地域の横のつながりが大事になつてきます。」

成功している地域は地域全体が団結しています。例えば、熊本県の黒川温泉という小さな温泉街がありますが、30年前はお客さんがほとんど訪れなかった場所です。それが今では日本一の温泉街と呼ばれる

までになりました。それは若い世代が団結して各旅館に露天風呂をつくり、外湯として観光客がどの露天風呂にも入れる取り組みをしたからです。さらに町並みにも気をつかい、外壁から屋根まで黒色などに統一をして、とてもきれいです。旅館が個々にもてなすのではなく、温泉街全体がひとつの旅館として、もてなしているのです」

吉原さんは「長年の積み重ねと、最終的には人だと思えます」と言います。

「おもしろいと思っているのが私たち世代です。私たち世代が30歳代になってきて、元気が出てきたと感じています。みんな仕事で一人前になり、少しずつ起業し始めています。そういう話をよく聞くようになりしました。それは次の時代に入っている台図ではないかと私は思っています。」

そして、私たち世代が次の10年を見据えて横のつながりを作り、どのように町を盛り上げていくのか、私は非常に興味を持っています。信濃町はもっとおもしろくなると思います」

ゲストハウスで一緒に地域を盛り上げる

野尻湖近くの宿泊施設を改装して、ゲストハウスLAMP（ランプ）を今年の5月にオープンしました。簡易宿泊施設およびレストランで、コミュニケーションの場を提供します。このゲストハウスが地元の人や観光客のつながる場となるようにしていきたいです。



支配人 坂田 樹 さん



活気ある町へ 新しい光を灯す

地域に希望を見出す起業家たちは、仕事や地域にどのように向き合い、考えているのでしょうか。「今」という時代に挑戦する姿を追いました。



1 設計するのは家族の暮らし

高遠 慎悟さん（建築設計／古間）

憧れの人の姿から

「想像していた以上に楽しいですね」と、高遠 慎悟さんは笑顔で話します。

高遠さんは1年前に設計士として起業しました。モノを作る仕事に憧れて設計事務所を就職後、長野市や町内の設計会社で経験を積み独立をしました。

起業を考えたきっかけは、「設計会社で経験を積むことで、やりたい仕事もできてきた。知り合いに私が憧れている設計士がいます。その人が独立して働く姿に、自由な

感じがしました」と、独立を決心しました。

設計士は夢を売る商売

理想の仕事を目指している高遠さん。設計士はお客さんと一度も会わないで設計をする場合も多くあります。しかし、高遠さんはお客さんと直接会い話をさせてもらった上で、プランを提案したいと思っています。

「お客さんは自分の予算の中で少しでも良いものを望んでいます。言葉では表されない部分をどうくみ取って、どう

形していくのかに気をつけています」

そして、「設計士は夢を売る商売だと思っています。設計するのは家の形ではなくて、そこに住む家族の暮らしだと思っています。家族の暮らしを丸ごと想像して、家族がどれだけ楽しいだろうかと考え、こうすればもっと楽しいかなと想像することだと思っています」と語る高遠さん。家を設計する上で、楽しく暮らせる町にしていきたいと思っています。



1. 現地でお客さんと打ち合わせをする高遠さん（左側）／2. 設計図を書いている様子／3. この日は家族の新しい家を設計するために、お客さんのアパートで打ち合わせ



2 地元を盛り上げていきたい

大澤 保博さん（自動車板金塗装／古間）

人に喜んでもらえる仕事

昨年8月に板金塗装会社を開業した大澤保博さん。長野市で板金塗装会社に勤めていた当時から「いつかは自分の力でやりたい」と考えていました。

商工会の起業塾を受講したことをきっかけに、長年の夢を実現しました。

大澤さんは車の塗装やへこんだ車を修理するだけではなく、人に喜んでもらえる仕事をしたいと考えています。

田舎のほうが楽しい

そんな大澤さんですが、「若

い頃は長野市に店を出したいと思ったこともありましたが、しかし、消防団活動やお祭りなどの地域活動に参加することで、地元の良さも段々とわかってきました。町の雰囲気やみんなと一緒に活動することが楽しいと感じるようになりました。今ではすっかり地元が好きになり「田舎の方が楽しい」と言います。

そして、みんなが楽しいと思える町にしていきたいと考えています。「地元で起業することで、地元を盛り上げていきたいです。そして、地域の人たちが楽しいと思える町に、自分たちがしていければいいなと思っています」と大澤さんは話してくれました。



1. 工場で作業をする大澤さん／2. 塗装をするための準備作業／3. 事務所でお客さんと笑顔で会話。仕事以外の話で盛り上がることも多いそうです／4. 車に塗装をしている様子



3 地域でオープンになりたい

中村 洋平さん（農業／野尻）

一番ありがたかったこと

「外で働けるのが一番幸せです」と中村洋平さん。2年間の里親制度（※）を経て今年4月に就農。キャベツ栽培の毎日です。

川上村にある高原野菜の農園で、1年間アルバイトをしたときに「自分で育てた物ができてるのが楽しかった」と、農業への夢を抱くようになりました。

「なんとか農業をやりたい」と思い、町の農林畜産係に相談をしました。里親を何件か紹介してもらい、一緒に現場学にも行きました。最終的にはキャベツなどを作っている黒姫開拓の清水優さんを紹介してもらい、2年間、農業の基礎を学びました。

「農業経験の少ない私にとって一番ありがたかったのは、清水さん夫妻が非常に前向きだったことです。『まずやってみないとわからないよ。やりな

がら今後のことを考えていけばいいよ』と受け入れてくれたことです。作業のことだけではなく、就農についても親身に相談に乗っていただきました。今でも清水さんには、いろいろと相談をしています」と中村さん。

失敗を次に活かす

就農1年目の今年は、1haのキャベツ畑を作っています。やはり、想定していなかったことが出てきて失敗もあるそうです。しかし、中村さんは「失敗は次に活かせます。その状況

を活かそうと、すぐに切り替えられるかだと思います」と言います。

「次に活かせるとその成果がすぐに出てくるので楽しいですね。少しずつ思い描くほ場に近づいていると実感しています」中村さんは、農業に興味を持つている人たちの窓口のようなことを、今後したいと考えています。

「私と同世代で30歳代の人たちも、農業に興味を持つ人が出てきています。これから新規就農を目指す人は増えていくと思います。地域で少しずつオープンになっていけばいいなと思います」と中村さんは笑顔を見せました。



4 きれいな景色と土台がある

松岡 雅流さん・真理子さん（酪農／富士里）

羊飼いとのおいから

子どもの頃から羊飼いに憧れを持っていたという松岡雅流さんは京都府出身。妻の真理子さんと信濃町へ移住してきたのは1年前になります。

「きれいな景色の中で羊を連れて歩きたいと選んだ場所です」と、町で羊飼いとての道を歩み始めました。

「仕事の内容は、観光スポットや別荘地などに羊を放牧する下草刈り作業や羊毛製品の制作・販売、食肉としての出



1. 牧草を食べる羊を背にした松岡さん夫婦／2. 刈り取った羊毛を糸車で紡いでいる真理子さん／3. 羊毛で作ったアクセサリ／4. 羊の世話をしている雅流さん

荷です」。雅流さんが羊の草刈り作業や羊や畜舎の管理などを担当、真理子さんは羊毛製品の制作や羊の堆肥を利用した野菜作りを担当しています。

羊飼いになったきっかけは、雅流さんが3ヶ月間の海外旅行をしたときに、現地で羊飼いと出会ったことです。「それまでは羊飼いを見たことがなかったのですが、仕事として羊飼いができるとは思っていま

した。仕事を一通り教わり、帰国後は信州新町の牧場で弟子入りをしました。その後、羊飼いの理想の場所を探し歩き、信濃町に移住を決めました。

信濃町を選んだ理由

信濃町を選んだ理由について、真理子さんは「信濃町は日本でもきれいな場所の1つだからです。単独の山が点在する景色、高原や湖といった豊かな自然環境は日本でも珍しいと思います」

雅流さんも「富ヶ原地区には昔、200件の酪農家がいと聞いていますが、今は6件のみです。200件もの人たちが酪農をしていたということは、ここは酪農に適した場所です。それだけの土台があると思います。私たちは開拓者たちが残した遺産を掘り起こして、使わせていただいていると思っています」

信濃町に移住して1年が過ぎ、これからいろいろなことに取り組んでいきたいと意気込みを語ってくれました。そして「人が集まる場所にしていく目には輝いていました。」



1. キャベツ畑で収穫作業中の中村さん／2. 自分の力で作った1年目のみずみずしいキャベツ／3. 収穫したキャベツをコンテナにつめて運び出す様子



※熟練農業者が「里親」となり、就農希望者を就農まで指導する支援制度

トッランナー：小布施町での取り組みを聞く

人と人がつながることで新しい動きが生まれる

地域を元気にするためには、様々な技能を持った人同士が交流をして、そこから協働が生まれることが大切だと思います。そのためには、人と人がつながる場や流れをつくり、何かを生み出すためのコミュニティを作っていく必要があります。

私は今、小布施町で町民や町内の事業者はもちろん、町外の人などが協働しながら、新しいものを生み出すためのプロジェクトを企画運営しています。その一つが「小布施若者会議」です。小布施若者会議は、全

国から集まった若者が、地方や日本の未来について語り合い、新しいアイデアなどを考える、町ぐるみのイベントです。3日間の期間中に具体的な提案を作るのは難しいですが、様々な人がつながり、関係性が作られることにこそ意味があります。町民や町外の参加者がその後も継続して関わるなかで、新しいプロジェクトが生まれています。様々な価値観を持った人とつながる場をつくるのが、地域の新しい動きにつながっていくと感じています。



慶応SDM・小布施ソーシャルデザインセンター研究員 大宮 透さん

プロフィール

群馬県高崎市出身。東京大学大学院を経て、平成25年より小布施町に移住。都市計画やまちづくりなどの専攻領域で得た見知を活かして、住民や町外の若者などをつなぐ様々なプロジェクトの企画・運営を行う。

「地域を元気にしていくためには、新しいものを生み出すことも必要だと思います」と大宮さん。固定化している地域には、新しい視点が必要です。意欲ある起業家は地域と関わり、その役割を果たしてくる可能性を持っています。その結果、新しい発想は様々な人たちが集まった地域の中で生まれてきます。「これをやってみよう」と。それが地域を変える火種となります。自分たちがやりたいと思う主体性があれば行動にも結びつき、やっている人たちが楽しいと思えばつながりは広がっていくはずで、起業者と地域がつながることで、新しい発想が生まれ、大きな動きになっていきます。

地域に新しい発想を生む

れる意識を持つことが必要なのです。例えば、イベントに参加をしたり、外部の人が参加できるイベントを開いたり。地域がつながることで、人や地域の魅力にふれて「この町で起業をしたい」と考える人が出てくるのです。

〇起業に関係する主な支援制度を紹介します

【起業の関係】

●ワンストップ相談窓口

町が県、商工会、金融機関と連携し、創業時の課題を解決するためにワンストップ相談窓口で対応します。

●起業塾

起業者の育成を目的とした塾です。体系的に学ぶ機会を提供し、起業の実現に向けた支援を行います。

●起業補助金

起業塾で作成した優秀なビジネスプランにより起業等した場合、審査を行った上で補助金を交付します。

☎ 産業観光課 商工観光係

☎ (255) 3114

【就農の関係】

●青年就農給付金(準備型)

農業技術及び経営ノウハウの習得のために研修を受ける就農希望者へ給付金を支給します。

●青年就農給付金(経営開始型)

経営リスクを背負っている新規就農者の経営が軌道に乗るまでの期間、給付金を支給します。

●青年等就農資金(無利子)

農地等の借地料、開業に係る費用、機械の購入、施設の設置などに対して資金を貸し付けます。

☎ 産業観光課 農林畜産係

☎ (255) 3113

【住まいの関係】

●空き家バンク制度

町内空き家情報を窓口やホームページ等により情報提供を行い、空き家所有者と利用希望者のマッチングを行います。

●若者定住家賃補助

町内の賃貸住宅に入居している方の負担の軽減を図り若者定住を促進するため、家賃に対して補助金を支給します。

☎ 産業観光課 癒やしの森・企業誘致係

☎ (255) 5925

「田んぼフェス」が11月2日に開催され、田んぼに笑顔があふれました



起業家たちは地域の新しい力です。町が輝きを取り戻すためには、起業家と地域のつながりが不可欠です。私たちはどのような関係を築いていくべきなのでしょう。

起業家とつながり 元気を生み出す

町で起業してもらうには

稲刈りが終わった田んぼを会場に、「田んぼフェス」が初めて開催。昨年、起業した大日向夫妻などが主催した楽しいイベントでした。

町行政では地域の新しい力となる起業家を増やすために、積極的な支援をしています。起業支援や就農支援、移住支援などです。しかし、支援制度を作っただけでは起業家は集まってきません。

小布施町でまちづくりの活動を行っている慶応SDM・小布施ソーシャルデザインセンター研究員の大宮透さんは「助成金をもらえると

も、土地勘もない、知り合いもない場所で、誰も起業をしようとは思わないはずで

地元の人起業する場合でも、地域に可能性や楽しさを感じていなければ難しいと思います。行政の支援は起業したいと思ったときの踏み出すきっかけにはなりますが、起業や移住の直接の動機にはならないと感じています」

では、町で起業したいと思っ

てもらうには何が必要なのでしょう。か。

私自身も小布施町への移住者です。地域の人と知り合いになり、人のつながりができたことで、小布施の魅力を知ることができました。地域に住んでいる私たち自身が、起業家を地域に受け入



おおひなた ひろゆき 大日向 宏幸さん・志保さん・愉樹くん

田んぼを会場にカレーライスやコーヒーの販売、フリーマーケットなどを行うイベント「田んぼフェス」を初めて開催しました。地域の人にも来てほしいと思っていましたので、地域の人たちが多く来てくれたことがうれしかったです。「みんなで楽しくやろう」というのがイベントの目的だったので、やっている方も楽しかったです。今後も続けていきたいですね。

未来への灯火

町が輝き続ける未来へ。その灯火は今、私たちが手にしています。灯火を未来につなげていきましょう。

信濃小中学校の1年生から9年生の9名に、将来の夢を書いてもらいました。

子どもたちの夢が 実現する町へ

将来に大きな夢を抱いている子どもたち。優しくしてくれた保育園の先生に憧れて、保育士を目指す少女。親の働く姿に憧れて、人を笑顔にする家を建てたいと大工を目指す少年。おいしいケーキに感動してパティシエになり、人を笑顔にしたいと言う少女。大きくなつて、おじいちゃんのリハビリを助ける仕事をしたいと言う少年など。

これらの夢が信濃町で実現できたなら、どれだけ素晴らしいことでしょうか。そして、町にどれだけの笑顔と元気が生まれるのでしょうか。

「町」の定義は数多くありますが、その一つに「アントレプレナーシップ（起業家精神）が発揮できる場所」という定義があります。簡単に言えば、「夢を実現したい」という思いを生かすことができる場所です。起業家たちが夢を実現できたは実現しようとしているように、若者たちにとって、この町が夢を実現できる場所になれば、きっと若者は増えていくはずです。

都会と比べて信濃町にないものは多くあります。でも、反対に都会にないものもたくさんあるはずです。今、地域に必要なものは、多様な視点で地域の資源を見ることが。現状で認識している資源だけではなく、地域に眠っている資源をどのように発見し、活用につなげていくのか。そのヒントが起業家とつながることで見えてくるのかもしれない。私たち一人ひとりが主体性を持ち、起業家たちとながらすることで、今までとは少し違った地域を見ることができるとは思います。

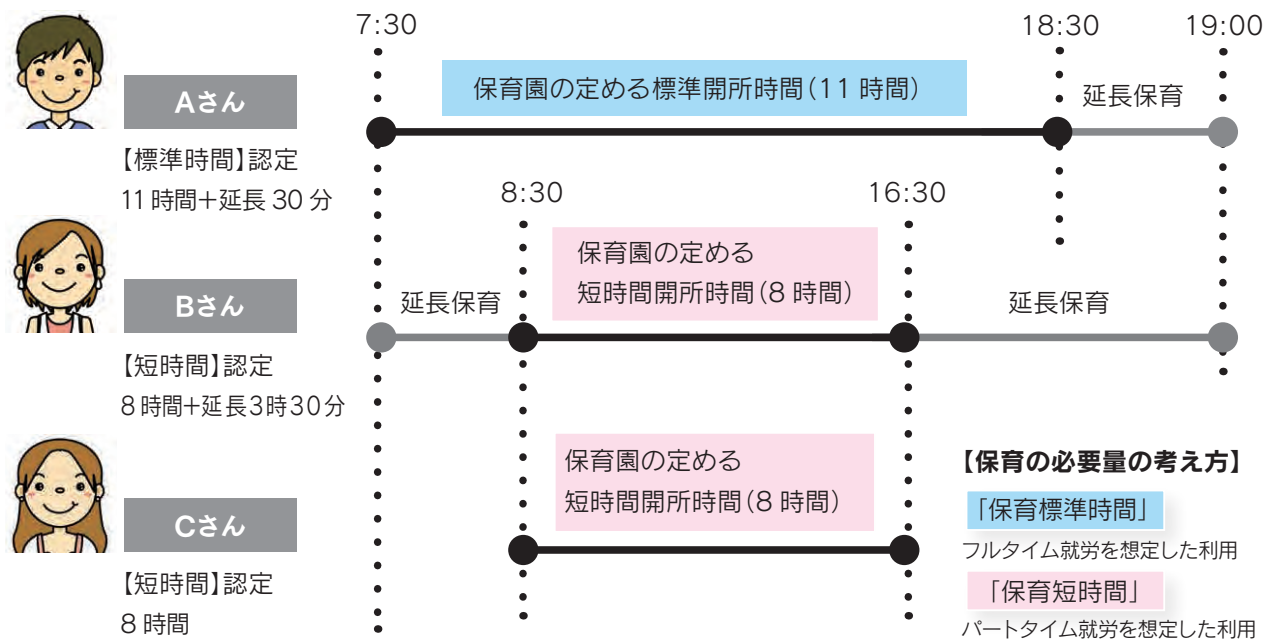
すぐに町が元気を取り戻すことは難しいですが、10年後、20年後に子どもたちの夢が叶えられる町であるように、私たちが今から少しずつ積み重ねていく必要があるのです。

私たちのほんの少しの行動が、未来につながる小さな灯火となり、子どもたちに引き継がれていくのです。町がこれからもずっと輝き続けられるように。

【特集】町を照らす光 終わり

保育の必要量に応じた区分のイメージ

2号認定または3号認定を受けた方は、さらに、保育の必要量によって、「保育標準時間」と「保育短時間」のそれぞれの利用区分に区分されます。



毎年9月が保育料の切り換え時期となります



保育料の切り替えは?

保育料は市町村民税額をもとに毎年決定されることとなります。保育料の切り替え時期は毎年9月です。前年度の収入の変動に伴い、保育料の階層区分に変更が生じた場合、9月から新しい保育料となりますので、これまでのような暫定保育料による精算は行われません。

また、保育料は、各世帯の所得状況に応じた負担を基本として町が設定します。施設によつては、あらかじめその使途や額・徴収理由等を明示の上、経費を町が定める保育料に加えて徴収する場合もあります。

信濃町における具体的な保育料は、現在検討を進めておりますので、順次お知らせします。なお、現行制度のまま継続する幼稚園等の保育料は、今までと変わらず、園が定める金額となります。

子ども・子育て支援制度の詳しい内容は、教育委員会子ども支援係 ☎(026)5923へお問合せください。

平成27年4月開始!

保育園・幼稚園等の認定制度が始まります

子どもたちが笑顔で成長し、すべての家庭が安心して子育てできるように。「子ども・子育て支援新制度」がスタートします。

認定制度とは?

すべての子どもたちが笑顔で成長し、すべての家庭が安心して子育てできるよう、平成24年8月に「子ども・子育て支援法」が成立しました。

新制度は、「子育てについての第一義的責任は保護者が持つ」という基本的な考えのもと、幼児期の教育、保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に進めることを目指しています。

そこで、地域の子育て家庭の状況や、子育て支援のニーズを把握し、ニーズに合った総合的な子育て支援に取り組むために「信濃町子ども・子育て支援事業計画」を策定しています。この「信濃町子ども・子育て支援事業計画」をもとに、平成27年4月から保育園、幼稚園、認定こども園、地域型保育の施設利用を希望する保護者の方に、利用のための認定を町から受けていただくようになります。

また、保護者の方の就労状況に応じた保育の必要量についての認定も行います。

3つの認定区分

新制度では新たに「必要な教育・保育の認定制度」が導入され、給付対象となる施設等(保育園・幼稚園・認定こども園・地域型保育)の利用を希望される保護者の方は、町が定める以下の基準に従って、認定を受けることになります。

【1号認定】…教育標準時間認定

お子さんが満3歳以上で幼稚園等での教育を希望される場合 利用先:幼稚園、認定こども園

【2号認定】…満3歳以上・保育認定

お子さんが満3歳以上で保護者の就労や疾病等の事由により保育を必要とする場合 利用先:保育園・認定こども園

【3号認定】…満3歳未満・保育認定

お子さんが満3歳未満で保護者の就労や疾病等の事由により保育を必要とする場合 利用先:保育園・認定こども園など

○ 町立保育園を利用希望の場合 (2号・3号認定)

町に認定申請と入園申込み
(12月4日～12月19日)

町から支給認定証(2・3号)と入園
承諾書(2月上旬予定)

入園

○ 幼稚園等を利用希望の場合 (1号認定)

幼稚園に直接
利用申し込み

幼稚園から入園
内定を受ける

幼稚園から
町に認定申請

町から支給認定
証(1号)

入園

施設の利用の流れ





子ども議員からの提案

信濃町子ども模擬議会を開催

「信濃町子ども模擬議会」が11月7日、議会議事堂で開催されました。信濃小中学校9学年の代表25名が、町の現状や課題を調べた成果を一般質問で発表しました。次代を担う子どもたちに、町づくりへの関心を持ってほしいと町議会が実施したものです。「子ども議員」から斬新な提案が出され、真剣な質疑と答弁が交わされました。詳しい内容は、次号「しなの町議会だより」でお伝えします。

土木遺産「戸草隧道」を学ぶ

国立長野工業高等専門学校の学生が測量授業

国立長野工業高等専門学校の学生たちが11月6日、土木遺産に指定されている「戸草隧道」で測量授業を行いました。この取り組みは歴史的な土木建造物を測量することで、測量の歴史や重要性を学ぶものです。学生たちは小西信州大学名誉教授から「信越線開設の歴史」の講義を受けた後、実際に戸草隧道の測量や調査を行いました。測量や調査を通して、学生たちは126年間の歴史を感じているようでした。



まちとまちとの助け合い

軽井沢町と災害時の復旧作業等協力協定を締結

信濃町は軽井沢町と10月27日、「災害時における復旧作業等協力に関する協定」を締結しました。「災害時における復旧作業等協力に関する協定」は、いずれかの町で災害が発生して十分な対策が取れない場合に、応援を迅速かつ円滑に行うことを目的としています。今回の締結は、今年2月に起きた本州南岸での記録的な大雪がきっかけです。大雪により関東甲信各県で交通麻痺が起き、信濃町にも交通麻痺の影響が及びました。その教訓を活かして、両町の協力体制を強化するものです。

長野県代表として健闘

ジュニアオリンピック陸上競技大会に出場

信濃小中学校の生徒2名が、ジュニアオリンピック陸上競技大会の長野県代表として出場が決まり、10月28日に来庁しました。第45回ジュニアオリンピック陸上競技大会は10月31日から11月2日まで横浜市で開催されました。9年生の小出郁弥さんは200m走と4×100mリレーに、8年生の永原朱夏さんは100m走と4×100mリレーに出場。全国の舞台上で健闘をしました。



全長1.9kmをスムーズに送水

柏原地区で消防団総合演習を実施

信濃町消防団総合演習を11月9日、柏原の黒姫開拓地区で実施しました。今回の訓練では、水利のない山林内での火災を想定。14台のポンプ車、積載車でホース約100本を連結して、全長1.9kmの送水訓練を行いました。昨年に続き、出勤まで発生地点を伏せる「ブラインド訓練」を採用し、担当地域の分団長の無線による指揮の下、より実戦に近い形で訓練を行いました。水利から火点まで高低差がありましたが、スムーズな放水に至り、信濃町消防団の練度の高さがうかがえました。



おいしい焼き芋になったよ！

柏原保育園の焼きいも会

柏原保育園で10月30日、焼きいも会が行われました。当日は秋晴れの中、未満児から年長児までの園児全員が園庭に集合。積み上げられた薪に火がつけられ炭になる間、園児たちはジャンケン大会をして楽しみました。炭が完成したところで、園児それぞれがサツマイモを投入しました。焼きいもは、おやつ時間にみんなで美味しくいただきました。



郷土の俳人、小林一茶を偲ぶ

小林一茶 188回忌法要・新そば会

11月19日、小林一茶の菩提寺、明専寺で188回忌の法要が営まれました。一茶記念館では、炎天寺全国小中学生俳句大会で入選した町内の小学生の表彰式が行われました。続く、俳人黒田杏子氏の記念講演では、一茶顕彰にご尽力された故清水哲さんとの楽しい交流や外国の方との俳句交流などの興味深いお話に、俳句愛好家のみなさんが聞き入りました。お昼には、柏原体育館前で新そば会が行われ、たくさんの方が、風味豊かな信濃町の新そばを味わいました。

降雪期到来。冬期間の道路の安全確保のために

除雪作業にご理解とご協力をお願いします



いよいよ雪のシーズンとなります。町では、冬期間の通勤、通学、通院などの日常生活に支障がないよう、生活道路の安全確保と冬道対策として、万全の体制で計画的な除雪作業を進めています。道路除雪は、日常生活と地域産業活動に欠くことのできない重要な事業です。みなさん一人ひとりのご理解とご協力をお願いします。

【除雪に関するお問い合わせ先】

町管理道路：建設水道課 建設係 ☎ (255) 5922
国管理道路：長野国道事務所 ☎ (251) 1904
県管理道路：長野建設事務所 ☎ (234) 9541

◎スムーズに除雪作業を進めるためのお願い◎



深夜作業にご理解を

除雪作業は、交通量の少ない早朝に行います。ご迷惑をおかけしますがご理解ください。



作業中の除雪車に近寄らない

除雪車は、前後 10 m くらいが運転手の死角になっています。作業中は絶対に近づかないでください。



路上駐車はやめましょう

路上の駐停車は、除雪の大きな妨げになります。決められた場所以外への駐停車はやめましょう。



道路へ雪を出したり物を置くのはやめましょう

除雪車で寄せた雪を道路に戻したり、各家庭の雪を道路に出したりしないでください。また、道路上に物を置くのも事故につながる恐れがありますので、絶対にやめてください。



雪押し場の確保にご協力を

特に住宅地では、道路の雪押し場の確保に大変困難しています。空地、畑等をお持ちの方は、雪押し場として使用させていただくようご協力をお願いします。

永年にわたる町への貢献をたたえる

「町政功労者表彰」を4名の方が受章されました

町政の発展にご尽力いただいた皆様を表彰する「平成 26 年度町政功労者表彰式」が 10 月 29 日、総合会館で行われ、今年は 4 名の方が表彰を受けられました。



❖ 一般表彰

山室 廣久 様

福祉委員会委員として 5 期 15 年務められ、住民福祉の向上と町の発展にご尽力いただきました。平成 22 年の緑綬功労章に続き、2 度目の受章です。

❖ 紫綬功労章

小坂 美和 様

教育委員会委員として 3 期 9 年 9 ヶ月務められ、女性・保護者の目線で教育行政へのチェックと信濃小中学校開校にご尽力いただきました。

❖ 紫綬功労章

加藤 小夜子 様

福祉委員会委員として 4 期 12 年務められ、住民福祉の向上と町の発展にご尽力いただきました。

❖ 紫綬功労章

関 金一郎 様

福祉委員会委員として 4 期 11 年 1 ヶ月務められ、福祉委員会委員長を歴任。住民福祉の向上と町の発展にご尽力いただきました。



BOY
おかむら はるき
岡村 晴澄ちゃん(大井)
お母さん:晴香さん
いっぱい遊んで、いっぱい食べて大きく育ってね。結貴とも一緒に遊ぼうね。



BOY
まるやま だいすけ
丸山 太良ちゃん(富濃)
お母さん:みつ美さん
いつもニコニコ笑顔の太良。これからも元気で明るく仲良く遊んで、大きくなれ。



GIRL
よしざわ めい
吉澤 芽依ちゃん(柏原)
お母さん:美恵さん
自由奔放でにーにが大好き！これからも元気で明るい芽依でいてね！！にーにとも仲良くね！！



BOY
ただ のる
戸田 實ちゃん(大井)
お母さん:美帆さん
これからも、元気にすくすく大きくなってね！！



GIRL
たかひら ゆきな
高平優希奈ちゃん(富濃)
お母さん:めぐみさん
とってもかわいいゆきな！！おねえちゃんとおとうといっしょにおおきくなってね。



GIRL
はしざき あかね
橋崎 茜ちゃん(柏原)
お母さん:久三さん
お姉ちゃん大好き茜ちゃん。けんかもするけど沢山けんかして大きくなれ。

ばんきっこ
Genkikko

1 歳半児健診に来てくれた
おともだち

12 月

お母さんの
メッセージ
付き！

協力

2015年農林業センサス統計調査のお知らせ
統計調査にご協力をお願いします

■総務課 庶務係 ☎(255)3143

農林業センサスは全国で実施している統計調査です。12月中旬より統計調査員が調査に回りますので、ご協力をお願いします。

12月中旬より農林業センサス統計調査が行われます。

農林業センサスは5年に1度、全国で実施される統計調査で、生産や就業構造などの実態を明らかにすることを目的としています。

2月1日を基準日として、農林

募集

豊かな自然環境を次の世代に伝えていくために
信濃町環境基本計画の策定委員を募集

■総務課 環境係 ☎(255)5924

信濃町環境基本計画を策定するための策定委員を募集します。

■環境基本計画とは

環境基本条例に規定されている計画で、環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策を定める計画です。

■募集人員 若干名
■募集資格 町内に住所を有する方

調査

信濃町の観光誘客促進に向けて
街頭アンケートへのご協力をお願いします

■産業観光課 癒やしの森・企業誘致係 ☎(255)5925

観光振興、地域活性化のために清泉女学院大学の学生によるアンケート調査が行なわれます。

今年3月31日に町は清泉女学院大学と包括連携協定を結びました。この協定は地域と大学が連携と協力を通じて、相互に発展していくことを目的としています。

■調査内容 観光に関するアンケート調査

■調査日時 12月6日(土)、7日(日)の2日間

大学生のみなさんが町内で調査を行いますので、聞き取り調査のお願いなどがありましたら、ご協力をお願いします。

募集

地元企業の皆様のPRにご活用ください
HPへの有料バナー広告を募集します

■総務課 まちづくり企画係 ☎(255)5920

地域産業の振興と新たな財源確保対策の一つとして、事業者のみなさまからの有料広告を募集します。

■募集する媒体

町ホームページバナー広告

■募集締切 12月10日(木)

■掲載場所 信濃町ホームページのトップページ下側

■掲載期間 平成27年1月～3月(次年度は改めて契約が必要です)

■掲載料金

1か月2千円(町外事業者は3千円)

具体的な掲載スペース、掲載基準などの詳細については、信濃町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

国保

必ず手続きが必要です。お忘れなく
国保から社保等への異動の手続き

■総務課 住民国保年金係 ☎(255)6820

国民健康保険加入者が、就職などで社会保険に加入した時や、家族の社会保険の扶養になった時は、異動の手続きが必要になります。

■国保からの異動の手続き

社会保険等へ加入する時は、原則14日以内に、役場住民国保年金係で手続きをしてください。(※自動では行われません)

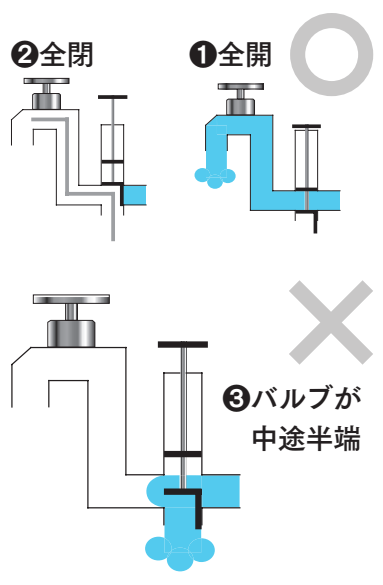
■持ち物 加入社会保険等の保険証または会社が発行する資格取得証明書／印鑑／国保保険証／年金手帳

■手続きが遅れると

◎社会保険等加入後も国保税が請求され続けてしまいます。
◎社会保険加入日以降に、国民健康保険の保険証を使って病院等にかかった場合、医療費のうち信濃町国保が負担した7割分を返金していただくことがあります。

不凍栓からの漏水

③のように、ハンドルを中途半端な位置にしたことが原因の漏水が、毎年多数見られます。不凍栓は①「全開」、または②「全閉」状態にしないと、水抜き穴に水道水が漏れてしまいますので、十分ご注意ください。



■暫定使用量での請求期間
平成26年12月分～平成27年4月分

■暫定使用水量
前年冬期間の平均使用量を暫定使用水量とします。なお、前年使用実績のないお客様は現在までの使用実績の平均を暫定使用水量とします。

12月上旬に、認定通知書(冬期間の毎月の暫定使用量や金額を記載した通知)を各戸に送付しますので、内容をご確認いただき、暫定料金の変更をご希望される方は、ご連絡をお願いします。

■精算は来年5月です
来年5月の検針再開時に精算となりますのでお願いします。

冬期間の漏水にご注意ください

メーター検針を行わない冬期間は、宅内漏水にご注意ください

【ここに注目】

水道の蛇口を全部閉めてもこのコマが回っていればどこかで漏水しています。発見したら速急「信濃町水道指定工事店」に修理を依頼してください。



水道

検針が出来ない間は、暫定料金です
上下水道料金は冬期間暫定請求です

■建設水道課 水道係 ☎(255)2962

暖房器具を使用する冬期間は、「灯油漏れ事故」が多発する時期です。みなさん灯油漏れ事故に注意してください。

①灯油をポリタンクなどに移すときは、絶対にその場を離れない。
②ホームタンクや配管が老朽化・腐食していないかを随時点検する。
③ホームタンクが野外にある場合、積雪や屋根からの落雪で配管が破損することがあるので、注意する。



今、できる事からはじめよう

家庭での誤嚥・誤飲を防ぐために

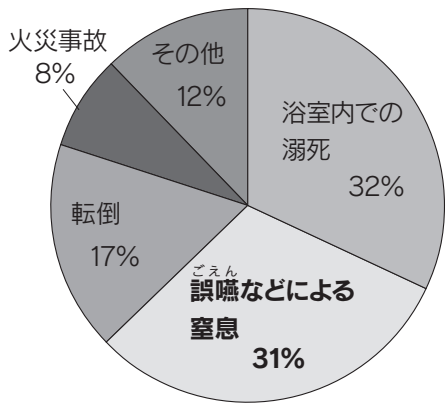
高齢者の誤嚥・誤飲は多い

65歳以上の高齢者が家庭内で起こす不良の事故死で最も多いのは、浴槽内での溺死です。次いで多いのが誤飲などによる窒息となっています。65歳以上の3割の方が誤飲による窒息で亡くなっており、さらに80歳以上の高齢者では誤飲による窒息死が多くなっています。

家庭でできる予防方法

窒息の原因となった食品ということ

高齢者の家庭内での不慮の事故死原因別割合
人口動態統計(平成18年)



「餅」を思いがちですが、65歳以上では、ご飯やパン、麺類、コンニャクなどが原因として報告されています。いずれも特別なものではなく、日常的に口にしているのばかりです。餅など特定の食品を避けるのではなく、誤嚥を起こさないような食べ方をするのが、何よりの予防策だと言えます。

最も簡単に効果のある予防策として

- ①小さく切ること
- ②ゆつくりとよく噛んで食べる
- ③家族と一緒に食べる

前者の2項目については、低下した嚥下能力をフォローするための策になります。食物が小さくなるほど、咽頭などに引っかかる可能性が減るだけでなく、よく噛むことで唾液が分泌され、食物の流れがスムーズになります。

3番目については、食事のときに家族などが一緒にいれば、もしも咽頭が詰まった場合でも、すぐに気付いて対処することが出来ます。事故から時間がたつほど死に至る危険性が増える傾向にあり、心臓が停止している場合は3分経過

すると死亡率が5割以上に達します。事故直後に適切な処置を取ること命が助かるケースも多く、いざという時の応急処置を知っておくことも重要です。

応急手当の方法

「のどが詰まったの?」と尋ね、声が出せず、うなずくようであれば窒息と判断し、直ちに以下の行動をとりましょう。

- ① 救急車を呼ぶように誰かに頼む
ただちに写真の「①腹部突き上げ法」「②背部叩打法」を数回ずつ繰り返し、異物を取り除く
- ② 咳をすることが可能であれば、できるだけ咳を続けさせる(咳ができればそれが異物の除去に最も効果的)

①腹部突き上げ法
・傷病者を後ろから抱えるように腕をまわす

・片手で握りこぶしを作り、その親指側を傷病者のへそより上で、みぞおちの十分下方に当てる

・その手をもう一方の手で包むように握り、すばやく手前上方に向かって圧迫す

るよう突き上げる

②背部叩打法

・背中をたたきやすいように傷病者の横に回る

・手の付け根で肩甲骨の間を力強く、何度も連続して叩く

写真① 腹部突き上げ法



写真② 背部叩打法



家畜診療所通信

獣医師:清水達夫

みなさんこんにちは、師走です。もう今年も残すところ1か月です。早いよう



2歳の若いお母さん牛です



生まれたばかりのかわいい子牛

さて先月のニュースで、河川敷に小型犬が何十匹も捨てられていた、というニュースがありました。とてもかわいそうと言いますが、近頃は予防獣医学の発達やペットフードが見直されペットの寿命が劇的に伸び、ペットよりも飼い主の方が先に亡くなったり、飼育できなくなったりして、生き場の無くなったペットが増えています。ペットは生き物です。ペットが最後まで幸せで暮らせるようにするのは人間なのです。もしものことが起きててもペットが幸せで過ごせるよう考えてみましょう!

今回から、以前も掲載したことがある乳牛の成長を追うシリーズをやりたいと思います。

まず、お母さん牛の紹介

子牛は、生まれて半日もすると立ち上がります。人間以外の大半の動物は、お母さんのお腹にいるときに、体がある程度成長してから出てきます。野生の世界では、生まれてすぐに外敵から逃げられなければ、生きていけません。人間は動物物から見るとかなり未熟

信濃町の地域振興を図るため

「一般社団法人 信濃町振興局」を発足

一般社団法人 信濃町振興局は、町商工会、町旅館組合、信州しなの町エコツーリズム観光協会と信濃町の町内4団体で発足をしました。北陸新幹線(長野経由)金沢延伸開業やJR東日本から経営分離する「しなの鉄道 北しなの線」の開業を契機に、町の産業の活性化、交流人口の増加や文化等の向上を図ることを目的に活動を行っていきます。

■主な事業

鉄道の旅客運送事業の業務と鉄道と駅周辺の活性化事業自然環境及び歴史的文化の維持向上に関する調査研究
フィルムコミッション等に関する事業

■当面の事業

駅業務受託準備/平成27年4月公益社団法人移行準備



Topics



スクリーンにはみんなが描いた絵が映し出されました

二組のみんなはもめることなく、あっさり役が決まりました。厳密に「〇〇役は何人」と決めないで基本的にやりたい役をやろうということとで話し合っただけです。そして、楽団の場面、三毛猫の場面、かつこの場面、それぞれグループごとにせりふの言い方や動きを相談しながら決めてきました。

グループごとの追究では、もめることもありましたが。時には意見がぶつかりあってけんかになることも。それは、お話に出会ったときにもった「セロ弾きのゴーシュ」のイメージが一人一人の心の中にあり、自分友だちが許せない故のぶつかり合いでした。でも、みんなの意見が食い



プロの伴奏に合わせて



ちょっと生意気な三毛猫たち



オーケストラの場面「きれいに歌うよ」

をつくりあげることの大変さや楽しさを存分に味わうことができました。オペレッタに取り組んだから知ることができた「友だちと自分との感じ方の違い」や「みんなの力を合わせれば何だってできる」という仲間への信頼」を今後の学校生活に生かしていきたいと思っています。



自由に気ままなカッコウの姿です

違うところを納得するまで話し合っで一番いい演じ方を考えたり、グループで解決しないときはクラスみんなで話し合っで解決したりしてきました。時には、一つの役のひとつのせりふを、みんなで言ってみてどんな言い方がみんなのイメージにじっくりくるのか話し合ったときもありました。誰一人、自分の役だけ、自分の順番だけうまくできればいいや、なんて思っていないのです。自分のせりふだけでなく、どの友だちが、いつ、どんなせりふを、どんなふうに言うか、というところまで子どもたちはわかって、「セロ弾きのゴーシュ」を演じていました。

友だちの考えや自分のイメージを大事にしながら取り組んできた「セロ弾きのゴーシュ」。ひとつのものを

二組

四ヶ月に及ぶ「セロ弾きの成果を一人一人がしっかりと発揮し、「楽しくできてよかった」「みんなで考えたところがうまくできてよかった」と全員が満足感をもって公演を終えることができました。

六月の「セロ弾きのゴーシュ」との出会いから児童館公演までの間、子どもたちは様々なことを感じ、話し合いを繰り返してきました。今現在の子どもの納得の形が児童館での演技です。

School Correspondence

広報版

信濃小中学校だより そよげわか竹

オペレッタ
「セロ弾きのゴーシュ」



みんなで考えよう

練習に励んでいました。クラスごとに各場面を追究できたことで、場面ごとの仕上がりはともにも早かったです。思い思いの意見をグループプリー

今年作「セロ弾きのゴーシュ」を題材にオペレッタに取り組んできました。初めは三年生全員でDVD鑑賞をし、「セロ弾きのゴーシュ」全体のイメージを共有しました。そのときから、すでに食いつくように映像を見つめる子どもの姿が多く、「表現したい」という意識がとても高いことに驚かされました。

六月に各クラスで場面を分けました。全部で六つの場面だったので、ちょうど二クラスで三つずつの場面に分かれました。そして、そこからはクラスごとの追究になっていきました。一組では、後半の「たぬき」、「ねずみ」、「演奏会当日」のそれぞれの役が決まった後は、教師があまり介入せずに、子どもたちで練習方法や計画を立て、日々練習に励んでいました。



たぬき練習風景



音楽団

付け加えたり、役を増やしたりもしました。特に「ねずみ」の場面では、「おじいちゃんねずみ」や「おばあちゃんねずみ」など、子ねずみのことを心配して、家族全員でゴーシュの家を訪問

ダーがまじめ、すべては「見ている人全員に気持ちや伝えたい」という願いをもちに練習が進んでいきます。また、原作にはないようなセリフを

するという新たなストーリーを加えました。これも、自分たちで必要感を持ち、自分たちで加えていったのです。このように、自分たちで考え、自分たちで追究していったからこそ、個性あふれる上演にすることができました。子どもたちの「やりたい」という気持ちが大切なんだということを改めて実感しました。



ねずみ練習風景



大成功

11月9日に菅川育林会・菅川区主催の行事「舟でいく野尻湖・菅川―歴史と自然のウォーキング―」がおこなわれました。参加者は10名でした。菅川まで遊覧船と和船を使い、移動しました。船上では環境省レンジャーの方々から国立公園である野尻湖の紹介がありました。菅川神社では、町の天然記念物である大杉群の観察をしました。大杉の直径は84mもあり、杉の大きさを実感できました。また神社にまつられている十二薬師を特別に見させていただきました。その後、車に乗って斑尾林道へ移動し、野尻湖と黒姫山などの山々が遠望できる場所で野尻湖の生い立ちや火山について学びました。また菅川区有林にも入らせていただきました。湖畔に戻り、菅川集会所で昼食となり、菅川区の皆さんが作ってくださった焼きそばやキノコ汁をおいしくいただきました。



船の上で国立公園クイズに挑戦



野尻湖や黒姫山、妙高山を遠望

○船にのれて、たのしかったです。きれいなけしきが見られてよかったです。やきそばやきのこじるとか、すごくおいしかったです。

信濃小中学校年2年 小林 愛苑

○今日は野尻湖の裏側を見学させていただき勉強になりました。そしておいしい昼食をいただき、ありがとうございました。

菅川神社の大杉や地区の自然、人々と触れ合う時間を持つことが出来、とても有意義でした。地区の方には大変お世話になりました。

柏原 多羅尾光則

紅葉の野尻湖で自然と歴史を満喫 舟でいく野尻湖・菅川

11月9日(日)

皆既月食の観望会を行いました —信濃町星空研究会— 10月8日(水)

10月8日(水) 6時から古間の交流施設のグラウンドで、皆既月食の観望会を行いました。スタッフも含めて9名の方が参加し、欠けていく月をみました。あいにくの曇りで、雲が途切れたわずかな時間で、皆既月食を見ることができました。



10月8日20時20分ころの月のようす(大沢時雄氏撮影)

地球の影のなかを月が通過していく現象が月食ですが、もっとも暗い影の部分(本影といひます)に入るとき皆既月食と呼んでいます。月が赤くなる幻想的な姿を楽しむことができました。

博物館からのお知らせ

野尻湖ナウマンゾウ博物館は冬期も開館!!

開館期間 平成26年12月2日(火)～平成27年3月19日(木)
休館日 平成26年12月1日(月)

平成26年12月30日(火)～平成27年1月3日(土)
開館時間 午前9時～午後5時

※休日に来館をご希望の方は、事前に入館のご予約をお願い致します。平日についてもあらかじめご連絡いただけると確実です。3月20日以降は通常通り開館します。

お問い合わせ先

野尻湖ナウマンゾウ博物館

〒389-1303 長野県上水内郡信濃町野尻 287-5

電話 026-258-2090 FAX 026-258-3551

E-mail nojiriko@avis.ne.jp



戸草トンネルの内部
(下部は切石、上部はレンガ)

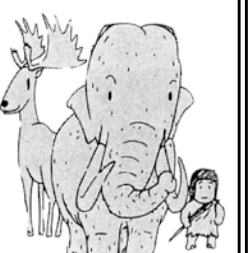
使われました。かつて蒸気機関車が通っていたトンネルを、一二十年経過した現在もなお町道のトンネルとして使っているのですから驚きです。この身近な土木遺産を大切に伝えていきたいものです。

県内最古の鉄道トンネル 「戸草トンネル」について

11月6日に戸草トンネルで長野高専の測量実習がおこなわれた際、信州大学名誉教授小西純一先生の講演を聞くことができましたので、その中から戸草トンネルについてご紹介いたします。

信越線の直江津から上田までは、中山道幹線鉄道を建設するための資材輸送線として工事が始まり、新潟県の関山駅から長野駅までが県内最初の鉄道の開業でした。よって、信濃町に現存する戸草トンネルは、大廻り草トンネルと大廻り草トンネルは県内最古の鉄道トンネルということになります。開業前年の明治20年(一八八七)11月の完成で、明治13年につくられた国内最古の逢坂山トンネルと断面形の寸法が同じで、古い規格でつくられています。トンネル内部の側壁は切石、アーチの部分レンガが積まれています。レンガが積まれていることが、当時の材料を現地調達したこと、切石は薬師山、レンガは飯綱町赤塩で焼かれたものが

博物館のページ



野尻湖
メウマンゾウ博物館

戸隠にて貝化石採集会

10月25日(土)

10月25日(土)に戸隠にて貝化石採集会をおこないました。町内外から25名の方が参加され、戸隠地質化石博物館の田辺学芸員のご案内で化石の採集とクリーニング、博物館見学をおこないました。はじめに裾花川沿いで地層の観察をしました。地層の中をよく見てみると、中に沢山のカキの化石が入っており、およそ三百万年まえに戸隠



地層の観察

周辺が海だったことがうかがえました。地層の観察を終えた後、場所を移動し、いよいよ化石採集です。ハンマーとタガネを使い、石を割ってみると、中から小ささまざまな貝の化石が見つかりました。化石探しを始める時間を経つのはあつという間でした。採取した石を持って、戸隠地質化石博物館に移動しました。昼食をとってから、館内で化石のでき方や、なぜ山の中で海の生物の化石が見つかるのかを学んだ後に、採取してきた化石のクリーニングをおこないました。大きな石のかたまりを取ってきた参加者もあり、時間いっぱい化石をきれいにする作業に取り組んでいました。

貝化石採集会に参加して

○森であつめた石をわるのがおもしろかった。いろいろなかせきをみられてよかった。

信濃小中学校1年 多羅尾あかり

○いっぱいかせきがひろえてよかったです。クリーニングがむずかしかったけど、たのしかったです。

信濃小中学校2年 井澤 友貴

○いろいろなことがわかったのでよかったです。たのしかったです。

信濃小中学校2年 高遠 咲楽

○今日は化石をほるときにラッキーなことがあつてよかったです。

信濃小中学校3年 河野美彩季



貝化石は見つかったかな?



田辺学芸員に館内を案内していただきました

○見つけるのが楽しかったです。いろいろな石の中に化石が入ってた。

信濃小中学校4年 高遠 愉仁

○はじめて化石をはくつしてたのしかったです。またやりたいです。

信濃小中学校4年 外谷 英慈

○ふじつぽをみつけれただけど、ちがうきれいなのをなくしてしまった。

信濃小中学校5年 木村 溪悟

○道の端に落ちている石の中から貝の化石が見つかることに驚きました。子供もとても喜んで、来年もまた来たいと言っています。

野尻 井澤 厚子

○思っていた以上に沢山の貝化石があることにとても驚きました。

大井 大倉 麗子

○戸隠の歴史、なぜ貝の化石がとれるのか、知ることができて楽しかったです。化石博物館を見れて、すごい化石があつて、びっくりしました。

古間 木村 明美

○初めての化石採集でした。こんな機会がないと、なかなかできない経験でとても楽しかったです。

飯綱町 羽入田隆元



化石のクリーニング作業



❶乳児健診(4・7・10か月児) 保健センター
12月18日**㊤**／受付:12:30～12:45(7・10か月児)／12:45～13:00(4か月児)
4か月児／対象:平成26年8月生
7か月児／対象:平成26年4・5月生
10か月児／対象:平成26年2月生

❷幼児健診(1歳半・3歳児) 保健センター
12月5日**㊤**／受付12:30～12:45
1歳半児／対象:平成25年5月生
3歳児 / 対象:平成23年11月生

❸予防接種外来(予約制) 信越病院
毎週**㊤**・**㊤**／受付14:00～15:00
※希望日の4日前までに予約してください
※予防接種は一般外来でも承りますが、その場合も予約が必要です

❹よろず相談 子育て支援ルームなかよし
12月17日**㊤**／10:30～11:30
子育ての相談・計測

❺すこやか料理教室 保健センター
12月11日**㊤**／9:45～13:30／内容:行事食(お正月料理)／申し込み:3日前まで

❻断酒会 総合会館
12月～3月まではお休みとなります／お酒をやめられない方、断酒を続けている方、ご家族の方のお酒についての相談、学習

❼精神保健相談 長野保健福祉事務所
12月12日**㊤**／13:30～／不眠・アルコール依存・人間関係・引きこもりなど、本人・ご家族の心の相談を精神科医がお受けします。(要予約)

❽母乳相談 子育て支援ルームなかよし
12月1日**㊤** / 8日**㊤** / 16日**㊤** / 22日**㊤**
9:00～13:00／母乳育児の相談、乳房マッサージ、体重測定

❾あそびの会 子育て支援ルームなかよし
12月25日**㊤**／10:30～11:30／内容:たまごの会によるパネルシアター

❿園庭開放 各保育園
12月12日**㊤**／9:00～11:00

⓫ちびっ子集まれ 各保育園
野尻保育園:12月16日**㊤**／柏原保育園:12月11日**㊤**／古間保育園:12月10日**㊤**／富士里保育園:12月10日**㊤**

▶問い合わせ先

❶～❷・❹～❻ 保健予防係 ☎(255)3112
❸ 信越病院小児科外来 ☎(255)3100
❼ 長野保健福祉事務所 ☎(225)9045
❽・❾ なかよし相談員 ☎090(4382)6832
❿・⓫ 野尻保育園 ☎(258)2345／柏原保育園 ☎(255)3740／古間保育園 ☎(255)2201／富士里保育園 ☎(255)3416

12月資源物収集

☎住民福祉課環境係
☎(255)5924

10日**㊤** 容器包装プラスチック
24日**㊤** 容器包装プラスチック

1月7日**㊤** 容器包装プラスチック
1月21日**㊤** 容器包装プラスチック

【北部衛生センター休日受入日・年末年始休業】
■休日受入日:12月29日**㊤**
■年末年始休業:12月30日**㊤**～1月3日**㊤**
■1月4日**㊤**も休業です。
※枳形可燃物最終処分場への搬入は11月末で終了しています。



第61回レルヒ記念杯スキー大会

出場選手の募集を始めました

第61回レルヒ記念杯スキー大会の出場選手を募集しています。小学生以上の方が出場できますので、ぜひご参加ください。

■日時 平成27年2月8日**㊤**
■会場 黒姫高原スノーパーク
■競技種目 スキー大回転
■募集期間 12月1日**㊤**～平成27年1月9日**㊤**
■申込方法 参加費・申込みについては、町ホームページをご覧ください。
<http://www.town.shinanomachi.nagano.jp>



☎レルヒ記念杯スキー大会実行委員会(申込先:産業観光課内) ☎(255)3114

火の用心

◆信濃町消防団年末警戒
12月27日**㊤**～30日**㊤**

☎総務課庶務係 ☎(255)3143

交通安全

◆年末の交通安全運動
12月1日**㊤**～31日**㊤**

☎総務課庶務係 ☎(255)3143

衆議院議員総選挙

12月14日**㊤**

【期日前投票】 12月3日**㊤**～12月13日**㊤**
毎日8:30～20:00 役場2階第6会議室
※最高裁判所裁判官国民審査の受付は、12月7日**㊤**からとなります。



棄権することなく投票に行きましょう

農業法人等就業フェア開催

長野県新規就農相談センターでは、農業法人や農家に就職を希望している方と求人募集をしている農業法人・農家との合同説明会を開催します。

■日程 平成27年1月18日**㊤**
■時間 10:00～15:30
■場所 長野県松本勤労者福祉センター大会議室
■その他 将来独立して就農を考えている方への就農相談も行います。詳しくは、長野県農業担い手育成基金のホームページをご覧ください。1月上旬に出展する法人、農家名を掲載します。入場無料、予約不要です。

☎長野県新規就農相談センター事務局
☎(231)6222
<http://www.nagano-ninaite.or.jp>

職場のトラブルを「あっせん」で解決

長野県労働委員会では、労働者個人と事業主間のトラブルを解決するための「あっせん」を行っています。労使双方がご利用いただけますので、お気軽にご相談ください。

■こんなトラブルご相談ください
◎納得できない理由で突然解雇された
◎説明無くパートの時給を下げられた
◎配転命令に従業員が従わない
■その他 相談料は無料／秘密厳守
☎長野県労働委員会事務局(県庁8階)
☎(235)7468
<http://www.pref.nagano.lg.jp>

建退共で退職金の準備を

この制度は、建設現場で働く方々のために「中小企業退職金共済法」という法

律により国が作った退職金制度です。

■加入できる事業主
→建設業を営む方
■対象となる労働者
→建設業の現場で働く人
■掛金 日額310円
■制度の特長
国の制度なので、安全・確実／申込み手続きは簡単／経営事項審査で加点評価の対象／掛金の一部を国が助成／掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ税法上全額非課税／事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算
☆制度の詳しい内容はお問い合わせまたはホームページをご覧ください。

☎建退共長野支部
☎(228)7200
<http://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp>

引揚者の通貨・証券等を返還しています

名古屋税関では、終戦後に外地から引き揚げてこられた方々が、税関などに預けられた通貨や証券等をお返ししておりますが、今なお、引き取り手がなく保管されているものが多数あります。
返還請求・お問い合わせは、ご本人はもとよりご家族の方でもかまいません。お心当たりの方は、お気軽にお問い合わせください。

■返還している通貨・証券等
○上陸地の関税又は海運局に預けられた通貨・証券等
○帰国前に在外公館や日本人自治会等に預けられた通貨・証券等のうち、その後日本に返還されたもの
☎財務省名古屋税関 監視部監視通関部門
☎052(654)4060

自衛官候補生採用試験

自衛隊の第一線で技能と体力を一心に磨く任期制自衛官を募集します。

■種目 自衛官候補生(男子)
■資格 18歳以上27歳未満の者(男子のみ)
■受付 12月1日**㊤**～平成27年1月16日**㊤**
■試験日 平成27年1月25日**㊤**
☎自衛隊長野地方協力本部 長野地域事務所
☎(235)6026

重度心身障がい者介護慰労金の支給

重度心身障がい者と要介護3～5認定者を在宅で6か月以上介護されている介護者に対して、介護慰労金を支給します。

■内容 平成25年11月1日から平成26年10月31日の1年間で、6か月以上の期間を在宅で介護をされた介護者が対象になります。支給にあたりその他の要件があります。詳しい内容はお問い合わせください。
☎住民福祉課 福祉係・介護支援係
☎(255)4214

中部電力からのお願い

停電等で中部電力へお問い合わせいただく場合は、0120(984)510へお掛けください。別のお客さま宅への間違い電話が頻発しております。お掛け間違いのないようお願いいたします。

☎中部電力株式会社 長野営業所
☎0120(984)510

オフ・トークしなごの自主番組

月	22日	詩吟の時間
火	23日	税務署だより
水	3,10,17,24日	保健だより
	11日	消防だより
木	18日	交番だより
	25日	一茶ふるさと俳句
金	26日	ふるさとの民話
	13日	ふるさとの民話
土	20日	学校だより

わたしの
夢

未来への輝く思い

信濃小中学校1年2組

やましたともや
山下智也



大きくなったら、 サッカーせんしゅになりたい

ぼくは大きくなったら、サッカーせんしゅになりたいです。サッカーせんしゅになって、かいがいのチームにはいりたいです。それでもっともっとサッカーがうまくなりたいです。いまは、とりいがわFCにはいっていて、1しゅうかんに3かい、ふるまのグラウンドやそうごうたいいくかん、かしわばらのグラウンドでれんしゅうをしています。プロのせんしゅになったらドリブルであいてをぬいて、みかたにパスをしたり、じぶんでドリブルをして、さいごにシュートをきめたりできるせんしゅになりたいです。

編集後記

◆今回の特集は、地域活性化をテーマに起業家の方々を取り上げました。起業家の方々から話を聞いたことで、当初考えていた内容と変わった部分もあります。行政目線とは違った目線で、「なるほど」と感じることが多くありました。内容にもふくらみが出たと思っております。取材にあたり、たくさんの方々にお世話になりました。心より感謝いたします。(水)

◆いよいよ冬です。寒いですが、空気も乾燥しはじめた感じがします。冬といえば火事の多い季節です。11月9日、消防団の総合演習がありました。山林火災が起きたという設定です。今回は撮影側にまわったので、各消防団の姿や本部の動きを見ることができました。訓練全体の動きを見る機会は、なかなかないので、良い機会になりました。(はつとり)

町の将来像

美しい
おいしい
安心豊か
楽しむ町
自然の恵みを
「信濃町出身です」と誇れるふさと